

第17回症例検討会

case31

2022年 5月 9日

70代 女性

主訴：腰痛 振戦 歩行困難

医師の診断名：パーキンソン病(PD)

既往症：子宮筋腫(x-30年)切除

医療機関：内科クリニック(近隣かかりつけ医)

神経内科クリニック

内服薬：降圧剤、高コレステロール薬、PD治療薬(数種類)

精神安定剤

サプリ類：妹さんが勧めるもの5種類程度

生活歴：アルコール・喫煙(20代) 食事：3食(自然食中心)

出産歴：有(息子2人、孫3人)

アレルギー：無

現病歴：

x-3年 母親の逝去を期に地方都市から東京に引っ越してきた。

元々腰痛持ちであったが、東京に来てから
脊椎後湾症(亀背)が悪化。

腰痛と歩行困難の改善を期待して鍼灸院(x年)に相談。

x年 2月 ご家族がかかっている鍼灸院に相談。

「振戦・筋硬直・歩行障害・睡眠障害・気分障害など」が
見られたため神経内科での診察を勧める。

x年 4月 神経内科でパーキンソン病(PD)の診断を得た。

客観的情報

身長：155cm 体重：45kg

介護認定：要介護2

検査：

x+1年1月

Γ-GTP 36、CPK 161

尿素窒素 20.2、クレアチニン 1.31

BNP 20.7

x+1年5月

Γ-GTP 29、CPK 135

尿素窒素 18.7、クレアチニン 1.14

AA(アラキドン酸) 195、EPA 67、DHA 135

EPA/AA値 0.34

O(objective) 客観的情報

A(assessment) 評価

東洋医学的情報

寒熱：手足の冷え 燥湿：のどの渇き 汗：あまりかかない

食事：妹さんが作る健康的な食事 二便：便秘傾向

睡眠：中途覚醒、幻覚を見る時期がある

脈診：祖脈診(やや浮、数、やや濇、実)、脈状(弦)

治療

取穴：手足刺絡(自律神経免疫療法、安保先生)

背部俞穴への鍼

前頭部への経皮通電

得気：無

深さ：2～4 mm

通電：有

頻度：1/w

経過

x年 4月

神経内科でPD診断.

神経内科から地域支援病院を紹介され精査を受ける.

その地域支援病院のソーシャルワーカーから介護認定の提案.

介護認定は要介護2.

近隣のかかりつけ内科クリニックへも連絡がいき

通所リハと在宅リハ、ヘルパー週2回のプランで

ケアが始まった. 鍼灸は在宅で週1回.

ご本人はPDの診断に不服のご様子だったが
(本人はただの腰痛と考えていたため)
多職種での介入により歩行や生活に改善が見られた。

なにより、介護ご家族の負担が軽減した。

x+2年 近隣での散歩が可能にまで回復した。
家での日常生活も自立しており
同居家族も外泊が可能となった。

考察

経過は良好であった。

歩行への改善があった。家族で外食ができるようになった。

協働、連携により鍼灸が貢献できる可能性を感じた。

特に在宅リハの介入以降、歩行や認知機能の改善がみられた。

気温や湿度・天候によるものと思われる症状の増悪があった。

問い

多職種での介入と鍼灸単独の対応とを比較した場合
同じような結果がえられただろうか？？
また、改善へのスピードは同じだったか？？

患者さんの主観的幸福度と客観的身体状態のギャップを埋める
良い方法はあるのか？？

文献

ガイドライン

パーキンソン病診療ガイドライン2018

一般社団法人 日本神経学会

https://www.neurology-jp.org/guidelinem/parkinson_2018.html

「B-17 パーキンソン病診療ガイドライン 2018

漢方製剤の記載を含む診療ガイドライン」

日本東洋医学会 EBM 委員会 診療ガイドライン・タスクフォース

<https://www.jsom.or.jp/medical/ebm/cpg/pdf/B17.pdf>

論文

「パーキンソン病に対する鍼治療の臨床効果に関する研究

—ランダム化比較試験（RCT）による検討—」

福田 晋平，江川 雅人，苗村 健治

https://www.meiji-u.ac.jp/bulletin/2012-06/03_fukuda.pdf

「リハビリテーション領域におけるパーキンソン病
臨床研究と治療プログラム」

三上 恭平, 白石 眞

日本臨床生理学会雑誌 Vol. 50, No. 1, 2020. P.15-19

https://www.jstage.jst.go.jp/article/jocp/50/1/50_15/pdf/-char/ja

「パーキンソン病に対する薬物治療と鍼灸治療併用療法についての治療成績
2群間のランダム化比較試験。」

水嶋丈雄

日本東洋医学雑誌 2011; 62(6): 691-694. 医中誌 Web ID: 2012099074